

# 保健だより



H27. 9. 30  
健康診断号  
和泉市立和泉中学校 保健室

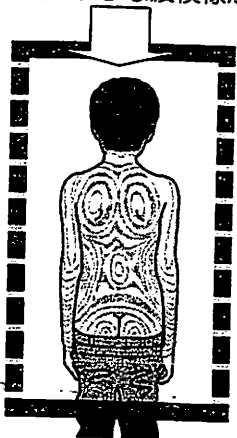
## 脊柱側弯症検診があります

日時：10月9日(金) 8時50分開始予定 場所：図書室

持ち物：体操服(上半身は裸になります。ハーフパンツを忘れると、

パンツで検診を受けてもらいます。)

モアシ検査で背骨が曲がったりねじれたりしていないかを見ます。結果の写真には、図のような波模様が写ります。



### 脊柱側弯症について

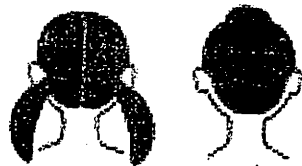
子どもの多くに見られる背骨の病気に(突発性)脊柱側弯症があります。この病気は、姿勢の良し悪しに関係なく、背骨が横に曲がり、ねじれてしまう病気です。

多くの場合10代前半で進行・悪化してしまうため、病気を早期に発見し治療することが大切になってきます。

検診の大切さをしっかりと理解し、正しく検診を受けましょう。

### 検査の受け方・注意

- ★ 移動中、集合中、検査中はしずかに。
- ★ 検査中に名前を呼ばれたら返事をする。
- ★ あいさつ(お願いします、ありがとうございました)する。
- ★ 一人ずつ着替える場所があります。素早く着替えること。
- ★ 肩より長い髪の毛はまとめられるようヘアゴムを用意すること。



### 検診の結果について

病気の疑いや、さらに検査が必要な人にはお知らせを出します。

平成27年9月

保護者の皆様

和泉市教育委員会

#### 脊柱側弯症検診の実施について

保護者の皆様には、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

また、日ごろから本市の教育活動にご理解ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、標記につきまして、現在、定期健康診断で脊柱の検査を学校医により視診・触診で行っているところですが、側弯症などの脊柱の変形は、10歳から15歳の思春期におこる割合が高いと言われており、また、初めは、自覚症状がなく、周囲も気づかないことが多いのも特徴で、検診で初めて気づくことが多いと言われています。

そこで、本市では、早期に発見し、早い段階で適切に対処することにより、成人後も安定した日常生活を過ごせるよう、側弯症の所見率の高い小学5年生と中学1年生、4月・5月の内科検診で検査を受けるように指示があった児童・生徒、昨年度の検診で経過観察が必要な児童・生徒等を対象に「モアレ検査」による検診を実施します。時期につきましては、9、10月に実施予定です。(詳しい日程は、各学校から連絡があります。)

「モアレ検査」とは、光の照射で背中に等高線の縞模様を映し出し、その形状と左右対称の様子で側弯の程度を検査するものです。正常な場合は、縞模様が左右対称となりますが、側弯症の場合は、左右非対称の縞模様になります。

「モアレ検査」は、側弯症の疑いのある人を早期に発見するもので、身体に何ら影響を与えることなく検査することができる方法です。

実施場所は、各学校の体育館や保健室等で、部屋に暗幕をし、撮影するところを外から見えないように徹底し、上半身裸で下着をお尻の真ん中ぐらいたずらし、背中から写真撮影を行います。その際には、児童・生徒のプライバシーの保護にも十分配慮し、実施いたします。また、女子の検査は、全て女性の医療従事者が実施します。

検査後に所見があったお子様には、別途二次検査(レントゲン撮影)のお知らせをします。

検査実施者は、医療法人厚生会です。そちらからのご案内を右に載せていますので、ご覧ください。

検診業務につきまして、みなさまのご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

#### <問い合わせ>

和泉市教育委員会事務局  
教育総務室 保健給食担当  
TEL 0725-99-8158  
FAX 0725-43-5220

平成27年9月

保護者のみなさまへ

医療法人 厚生会

#### 平成27年度 脊柱側弯症検診について

拝啓 保護者のみなさまにはご健勝のこととお慶び申し上げます。

子どもたちの健やかな成長のため、当会では脊柱の疾病及び異常について早期発見できるよう、モアレ・トポグラフィ検査(以後モアレ検査)を実施しています。

モアレ検査とは、光の照射で背中に等高線の縞模様を映し出し記録する検査です。

背中に左右対称の等高線が現れると正常。側弯症で背中の高さに左右差があると、左右非対称の縞模様になります。側方に弯曲していたり、脊柱がねじれている事が見受けられます。

側弯症の場合には、痛みを伴うことは稀なため初期における発見は難しく、ある程度成長してから気がつく場合が多いです。

肩やウエストの高さが左右違うなどの外見上の問題の他、高度の弯曲になると、腰背部痛に加え胸の圧迫と変形による呼吸器障害・循環器障害など内臓にも影響を及ぼしたり、皮下脂肪型肥満の女児になりやすくなります。

このように、脊柱側弯によってさまざまな病気が引き起こされると言われています。

脊柱側弯症検診は、成長期にある子供たちの姿勢異常を発見し、成人となったときに安定した支障のない日常生活を送れるようにすることを、目的とし実施されています。

従って、この疾患の早期発見が重要であることはいまでもありません。

検診業務に対しまして、みなさまのご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

敬具